



2021年2月1日

各位

会社名 株式会社エヌジェイホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 筒井 俊光
 (JASDAQ・コード9421)
 問合せ先
 役職・氏名 経営企画室長 野澤 創一
 電話 03-5418-8128

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2020年8月13日付「2020年6月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました2021年6月期の通期業績予想を修正しましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2021年6月期通期(2020年7月1日～2021年6月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回発表予想(A)	12,000	400	380	160	30.23
今回修正予想(B)	12,200	210	190	10	1.89
増減額(B-A)	200	△190	△190	△150	—
増減率	1.7%	△47.5%	△50.0%	△93.8%	—
(ご参考)2020年 6月期実績	14,491	205	207	27	5.12

(注) 2020年6月期は、決算期変更の経過期間のため15ヶ月決算となっております。

2. 修正の理由

ゲーム事業におきましては、受託開発においては、受注済み案件の開発フェーズの進捗に伴い、増収となる見込みですが、要求仕様や開発スケジュール等の影響から原価率が当初想定より増加しており、また、新規受注が遅れているラインによる未稼働原価の増加から、増収による利益寄与は僅少となる見込みであります。なお、当該ラインの未稼働解消は来期になるものと予想しております。

す。ゲーム運営サポートにおいては、海外タイトルに関する受注は増加しているものの、国内向け大型スマホタイトルの新規リリース減少による受注競争激化や、運営サポートタイトルのサービス終了に伴う派遣の終了から、人員の稼働率が低下しております。

上記から、ゲーム事業については、売上高は、受注済み案件の開発フェーズの進捗に伴う収益計上から、前回比較にて増収を見込んでおります。営業利益及び経常利益は、上記開発ラインの空きによる減収相当額とゲーム運営サポートの稼働率の低下による減収相当額がいずれも減益幅に影響することから、前回比較にて減益となる見込みです。

モバイル事業におきましては、一昨年の分離プラン及び値引き規制等の法改正の施行以降、販売台数が低調に推移するなか、コロナ禍の長期化の影響もあって、来店数も前年を下回る状態が続いております。このようななか、通信各社からオンライン専用ブランドが発表されたことや、緊急事態宣言の再発出により客足の戻りが再び遠のくと予想されることから、春商戦期においても、当初見込みを下回った推移を続けるものと予想しております。このため、売上高は、前回比較にて減収となる見込みであり、営業利益及び経常利益についても、前回比較にて減益となる見込みです。

以上により、通期業績予想については、売上高は、ゲーム事業の受注済み案件の開発フェーズの進捗に伴う増収要因が減収要因を上回り、12,200百万円、営業利益及び経常利益は、ゲーム事業及びモバイル事業のいずれも前回予想を下回る見込みから、それぞれ210百万円、190百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税等を加減し、10百万円を予想しております。

(注) 上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上